

(総合型選抜Ⅰ)

令和6年度入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 食料資源学科)

**【注意事項】**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。数字・記号・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題 以下の文章と図を読み、各問に答えよ。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：本文：以下の文献より再構成

朝日新聞「ゲノム編集食品食卓へ」2019年7月9日

朝日新聞「ゲノム編集食品 表示義務化せず」2019年9月20日

朝日新聞「ゲノム食品表示 これ理解得られるか」2019年9月25日

朝日新聞「ゲノム編集食品 普及への課題は」2021年11月23日

読売新聞「ゲノム編集食品4例目」2023年3月23日

小泉望、四方雅仁：ゲノム編集食品の取り扱いに関するルール ゲノム編集食品  
の取り扱い、化学と生物、60巻3号、pp. 150-153、2022年

出典：図：朝日新聞「ゲノム編集食品食卓へ」2019年7月9日より一部改変

問 1

従来の品種改良、遺伝子組み換え、ゲノム編集の 3 つの方法について、それぞれの違いが分かるよう説明し、遺伝子組み換え食品の規制対象になるかならないかは、何で決まっているのか、について 300 字以内で説明せよ。

問 2

ゲノム編集やゲノム編集食品の欠点を克服し、ゲノム編集食品を持続可能でよりよい社会の形成に利用するとしたら、あなたは、弘前大学農学生命科学部食料資源学科でどのようなことを学び考える必要があるか、500 字以内で論ぜよ。